

# 事業完了報告書（実行団体）

|          |   |
|----------|---|
| 事業名:     | 熊本豪雨災害支援オンライン副業復興事業                             |
| 資金分配団体名: | 一般財団法人日本未来創造公益資本財団                              |
| 実行団体名:   | 一般社団法人フミダス                                      |
| 実施時期:    | 2021年3月～2022年2月                                 |
| 事業対象地域:  | 熊本県   |
| 事業対象者:   | 熊本にて新型コロナウイルス感染拡大及び熊本豪雨災害により、活動が困難になっている団体・民間企業 |

Version 3.2

日付: 2022年3月14日

## I. 事業概要

|        |  |
|--------|--|
| 事業実施概要 | <p>発災から1年半が経過し、人吉市内にはいまだ解体を待つ家屋が軒を連ねており、復興もまだまだ道半ばな状況である。また新型コロナウイルスの度重なる感染拡大により人吉市内においてもまん延防止等重点措置を実施され、県外からの人の出入りが制限され、想定していた以上にオンラインでも可能な復興支援が不可欠な状況となった。今年度、県外人材がオンラインで復興活動に従事できるプロジェクトを人吉市や地元事業者と連携し、7事業を設計した。副業マッチングサイトやSNSを活用し都市部の人材を募集し、27名の申込がありうち10名を副業人材として採用し現地企業と副業人材をマッチングの上、関係人口増加や魅力再発信など7プロジェクトが実施され復興の加速が出来た。また、オンライン副業に関する調査分析を目的に現地企業や個人へのヒアリングも10事業者、15名に実施した。これをもとにオンライン副業復興を実行する上でのノウハウをまとめたパンフレットを作成し、今後、災害地で可能な副業による復興活動に活かす。2月28日には人吉市長や大学教授などを招待し最終報告会を開催した。37名の参加者と今後のオンライン副業人材による復興支援の有効性について協議を行うことができた。</p> |
|--------|--|

## II. 課題・事業設計の振り返り

|                   |   |
|-------------------|---|
| 課題設定、事業設計に関する振り返り | <p>当初10月までに4プロジェクトを実施する予定だったが、復興課題の整理や受け入れ事業者の理解などプロジェクト設計に至る以前に受け入れを断念する事業者があり、前半は2プロジェクトの実施に留まった。後半のプロジェクトに関しては前半の実績と復興課題の整理を進めながらプロジェクト設計をすることにより、受け入れ事業者がプロジェクト内容や副業人材の有効性に対して深く理解することができ、前半の2.5倍である5プロジェクトの実施に成功した。また、実施した7プロジェクト中6プロジェクトが事業期間終了後も事業の継続することが決定し、副業人材と共に立案した新規事業が中長期的に継続できる状態まで復興させるに至った。これにより、災害地におけるオンライン副業復興の有効性が改めて認識された。また副業人材の募集に対して予想を上回る応募があり、副業のニーズの高さを実感した。今後受け入れ事業者向けに副業復興受入に関するノウハウをまとめ、復興事業拡大のために活用していく。</p> |
|-------------------|---|

## III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

| ①受益者          | ②課題 | ③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）       | ④指標                          | ⑤目標値・目標状態                              | ⑥結果  | ⑦考察  |
|---------------|-----|--------------------------------|------------------------------|--|--|--|
| コロナで影響を受ける従事者 | その他 | 受け入れ企業・団体等と都市部副業人材との復興事業が実施される | 受け入れ企業・団体数/都市部副業人材数          | 受け入れ企業・団体8社/都市部副業人材8名                  | 受け入れ企業団体数 6社<br>都市部副業人材 8名                         | 受け入れ企業と都市部副業人材との復興事業として7つのプロジェクトが立ち上がった。   |
| コロナで影響を受ける従事者 | その他 | 受け入れ企業・団体と都市部副業人材との復興活動が行われる   | 受け入れ企業・団体/都市部副業人材の活動時間       | 受け入れ企業・団体8社×4ヶ月/都市部副業人材8名×4ヶ月          | 受け入れ企業団体数<br>6社×4ヶ月<br>都市部副業人材<br>7名×4ヶ月<br>1名×2ヶ月 | 地元高校と連携した復興動画配信や関係人口創出に向けたイベントなど現状の発信と新たな取り組みを同時進行で行ったことで様々な世代の関係者との連携が出来た。              |
| コロナで影響を受ける従事者 | その他 | 受け入れ企業・団体が復興が進む                | 復興が進んだ受け入れ企業・団体数             | 復興が進んだ企業・団体数8社                         | 復興が進んだ企業・団体数6社                                     | 受け入れ事業者すべてがこれまでできなかった事業を展開することができ、被災地の新たな取り組みが復興の加速へとつながった。                              |
| コロナで影響を受ける従事者 | その他 | 受け入れ企業・団体が新しく働く場が生まれる          | 新しく採用枠が生まれた受け入れ企業・団体数        | 新しく採用枠が生まれた企業・団体数3社                    | 新しく採用枠が生まれた企業・団体数4社                                | 受け入れ事業者の新たな事業展開に伴い人材の雇用が生まれ、身近にいないような人材がビジネスパートナーとして今後もつながることとなった。                       |
| 中間支援者         | その他 | オンライン副業での復興の在り方、やり方が整理できる      | 受け入れ企業・団体などヒアリング調査数/意見交換会の回数 | 受け入れ企業・団体13社/都市部副業人材13名/人吉市などとの意見交換会5回 | 受け入れ企業・団体10社<br>都市部副業人材15名<br>意見交換会8回              | 事業関係者を集め報告会をすることで復興の在り方を整理でき、また受け入れ事業者、副業人材へのヒアリングを進めガイドブックを作成することにより他被災地への展開が可能になると考える。 |

## IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）\*

|                |   |
|----------------|---|
| 事業実施以降に目標とする状況 | <p>①本事業を通して人吉市の8つのプロジェクト受入企業・団体の復興が進む。<br/>②2020年度実施の人吉復興オンライン副業プログラム5プロジェクトを含めた計13プロジェクトを通じたオンライン副業での復興の在り方や取り組み方法が調査分析でき、今後の被災地での新しい復興の取り組みのベースとなる。<br/>③本事業オンライン副業での復興支援が被災地復興に向けての新しい形として、被災自治体が本事業のプログラムを始める。</p>  |
| 考察等            | <p>2年間にわたり人吉復興オンライン副業プログラムを進めたことにより、復興課題の洗い出しと受け入れ事業者とのマッチングにおけるノウハウを確立し、新たな復興支援のスキームを作り上げることができた。また、任期終了後も継続することを前提としてプロジェクトの設計を行なったため、7プロジェクト中6プロジェクトが実施継続という結果につながった。また、調査分析においても以前より課題であった「副業に不慣れである地方事業者への副業受け入れ体制の整備」を念頭に置いた調査を実施。過去の「受入事業者」「副業人材」「中間組織」に対しヒアリングを実施し、オンライン副業における復興支援の見える化を行った。これにより、「副業人材加入による効果を最大化する依頼内容」「受入事業者の準備」「中間組織の立ち位置と業務」が明確になり、他の被災地においても迅速に導入することが可能となった。</p> |

V. 活動

| 活動   | 進捗     | 概要  |
|--|--------|---|
| ・オンライン副業復興受け入れ人吉市の企業・団体等の選定及びオンライン副業で復興の後押しとなるプロジェクトの設計（4社）  | ほぼ計画通り | 復興課題の整理が出来ず、予定よりプロジェクト数が減少した。                                       |
| ・プロジェクトサイトのHPアップ及び都市部副業人材募集及び人吉市の企業・団体等とのマッチング。1社あたり1名の計4名   | 計画通り   | 想定通り実施。SNSによる情報発信も実施しユーザーからの問い合わせも数件あった。                            |
| ・第1期オンライン副業復興事業スタート（約4ヶ月間）。プロジェクトごとチャットワーク等を活用して進捗管理<br>・月2回のプロジェクト進捗MTG及び2ヶ月1回のプロジェクト推進全体MTGの実施。状況により受け入れ企業、都市部副業人材、弊社での3者面談の実施<br>・人吉市並びに受け入れ企業・団体及び都市部副業人材などへのヒアリング調査・意見交換会を実施し、オンライン副業の可能性・在り方を検討していく<br>・第2期プロジェクトの受け入れ企業・団体の選定及びプロジェクト設計（4社）。第2期プロジェクトの都市部副業人材募集及び人吉市の企業・団体等とのマッチング。1社あたり1名の計4名<br>・第1期オンライン副業復興事業修了報告会の開催 | ほぼ計画通り | 予定していた稼働プロジェクト数に達することができなかったことを踏まえ、事業者のヒアリングを増やしプロジェクト設計を時間をかけて行った。 |
| ・第2期オンライン副業復興事業スタート（約4ヶ月間）。プロジェクトごとチャットワーク等を活用して進捗管理<br>・月2回のプロジェクト進捗MTG及び2ヶ月1回のプロジェクト推進全体MTGの実施。状況により受け入れ企業、都市部副業人材、弊社での3者面談の実施<br>・人吉市並びに受け入れ企業・団体及び都市部副業人材などへのヒアリング調査・意見交換会を実施し、オンライン副業の可能性・在り方を検討。分析調査のまとめ<br>・第2期オンライン副業復興事業修了報告会の開催  | 計画通り   | 想定通り実施。   |

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

|                     |      |
|---------------------|------|
| 想定外のアウトカム、活動、波及効果など | 特に無し |
|---------------------|------|

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

|           |   |
|-----------|---|
| 課題を取り巻く変化 | 事業を通して人吉市内の事業者におけるオンライン副業の有効性の認知と実施前のボトルネックの1つであった副業人材の活用に対する不安の軽減につながった。コロナ禍における社会のオンライン化促進と、生活復旧から産業復旧への復興フェーズの移行が重なり、オンライン副業復興の定着が進んだと認識している。また、被災地においても災害から1年半が経過したことで生活が徐々に回復し、生業の回復に移行する事業者への確かな副業人材のマッチングを行うことで、副業人材活用の定着を後押ししたと考える。今後は、今回の事業の知見を活かしさらなる人吉市の産業復興の促進と他被災地でのオンライン副業復興の実装を同時に行っていく。 |
|-----------|---|

VIII. 他団体との連携

| 連携先                  | 実施内容・結果  |
|----------------------|--|
| 人吉市                  | くまりば（人吉市まち・ひと・しごと総合交流館）にて最終報告会開催。人吉市内の副業復興受入候補事業者の紹介     |
| 一般社団法人ドットリバー         | 人吉球磨熱中小学校に弊社及び副業人材が参加し、参加者にていし副業復興プログラムの説明を実施。           |
| ツリースピリット合同会社         | 人吉市内の事業者に関する情報の提供。最終報告会へ人吉市内の関係者を招待。                     |
| 熊本県球磨地域振興局           | 球磨地域振興局が主催している人吉・球磨しごと創生連絡協議会運営委員会への参加。                  |
| 一般社団法人人吉球磨観光地域づくり協議会 | 人吉市内の副業復興受入候補事業者の紹介。人吉球磨のシティブランド「風水・折りの城下町」に関するヒアリングの協力。 |

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

|      |       | 計画額       | 実績額       | 執行率    |
|------|-------|-----------|-----------|--------|
| 事業費  | 直接事業費 | 9,218,760 | 9,218,760 | 100.0% |
|      | 管理的経費 | 665,500   | 665,500   | 100.0% |
| 合計   |       | 9,884,260 | 9,884,260 | 100.0% |
| 補足説明 |       |           |           |        |

X. 広報実績

| 広報内容                          | 内容   |
|-------------------------------|--|
| 1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）   | 2021年4月2日金曜日 人吉新聞「若者が残る人吉市に」<br>2021年9月17日金曜日 人吉新聞「人吉復興へ魅力広報」<br>2021年10月5日火曜日 人吉新聞「復興へ外部人材活用は」<br>2022年3月5日土曜日 人吉新聞「副業人材活用の成果は」 |
| 2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの      | オープンウェルネスシティ人吉 Instagram <a href="https://www.instagram.com/wellnesscity_h/">https://www.instagram.com/wellnesscity_h/</a>       |
| 3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例） | オープンウェルネスシティ人吉 バンフレット<br>最終報告会配布資料   |
| 4.報告書等                        | 副業人材8名 活動報告書   |

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

| ①規程類※の整備実績<br>※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)         | 状況  | 内容 |
|---|---|----|
| 1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。                        | 完了  |    |
| 2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。 |   |    |
| 3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。                  | 全て公開した  |    |
| 4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。                          |   |    |
| ②ガバナンス・コンプライアンス体制                                       | 状況  | 内容 |
| 1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。                   | はい  |    |
| 2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。                           | はい  |    |
| 3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。                     | はい  |    |
| 4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。                  | はい  |    |
| 5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。                    | はい  |    |
| 6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。<br>(実施予定の場合含む) (複数選択可)        | <input type="checkbox"/> 外部監査<br><input type="checkbox"/> 内部監査<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施予定はない |    |
| 7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。           | いいえ   |    |
| 8.内部通報制度は整備されていますか。                                     | はい  |    |